

新たな拠点都市づくり

人口減少や少子高齢化の急速な進行、地方分権の本格化など、地方自治体を取り巻く環境が大きく変化するなか、本市と徳島市、佐那河内村の3自治体による「新拠点都市創造検討会議」が設置され、徳島東部地域の発展に向けた新たな拠点都市づくりについて、調査・検討が進められました。

第3回検討会議（2月18日開催）において検討結果報告書が提出されましたので、その概要についてお知らせします。



新拠点都市創造検討会議 検討結果報告書（概要）

● 行政課題における

新たな展開の検討

構成自治体が抱える行政課題のうち、3自治体で取り組むことで新たな展開が期待できるものに対して、新拠点都市の創造による場合と、広域連携でも可能な場合における、それぞれの効果と課題を整理しました。なお、その実現性や実際の効果については、さらに具体的な検証が必要です。

<新拠点都市創造および広域連携により得られる主な効果>

① 住民サービスの向上

新拠点都市創造	<ul style="list-style-type: none"> ・利用が制限されていた他自治体の公共施設が利用可能となる。 ・消防力の強化により、住民の安全・安心が確保できる。
広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の相互利用により、利便性が向上する。 ・大規模災害が発生した際に、住民の避難場所の円滑な確保が可能となる。

② 広域的なまちづくり

新拠点都市創造	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある地域別のまちづくりを総合的な観点から行うことができる。 ・地域性に配慮した効果的な消防署所の配置などにより、初動体制の強化が図られる。
広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的な道路ネットワークの構築が可能となる。

③ 行財政の強化、効率化

新拠点都市創造	<ul style="list-style-type: none"> ・重複する機能を有する出先機関の統廃合などにより、施設の適正配置が図られ、維持管理費や修繕費を削減できる。 ・情報システムの統合により、システム開発および運用経費の効率化と、より高水準なシステムの構築を図ることができる。
広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・OA機器やソフトウェアの調達仕様を共通化し共同発注することにより、費用負担が軽減する。

④ 地域のイメージアップ

新拠点都市創造	<ul style="list-style-type: none"> ・都市規模の拡大などにより、地域のイメージアップと存在感の向上が図られる。 ・農林水産物や観光資源などの地域ブランド力が強化できる。
広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・異業種交流の推進により、新商品の開発や新市場の開拓、地域ブランド化が期待できる。 ・観光情報の発信力が強化され、観光客の増が期待できる。

● まとめ

今後については、人口減少や少子高齢化の進行などの厳しい将来予測に對し危機感を持ち、当検討結果などを踏まえながら、国の動向も注視しつつ、将来にわたり住民に安定して行政サービスを提供し続けるとともに、活力あるまちづくりを推進できる体制を模索していく必要があります。

※検討結果報告書については、市ホームページに掲載いたします。

【お問い合わせ先】

市総務課企画調整担当

TEL 32・2127

FAX 33・3253